



置賜自給圏推進機構は
皆様の会費で活動を行っていきます。
ぜひ、仲間になっていただけませんか?



一般社団法人 置賜自給圏推進機構への
入会お申込みは担当者にお問い合わせください。

□座：一般社団法人置賜自給圏推進機構
(現在準備中ですので、担当者にご相談ください)

□会員区分
○正会員
(本会の目的に賛同して入会した個人・団体、
総会への出席ができます)
個人 1口 2,000 円
団体 1口 10,000 円

○賛助会員 (本会の事業を協賛するために
入会した個人・団体)
個人 1口 3,000 円
団体 1口 50,000 円

□会員特典
①年 4 回の会報の送付
②シンポジウム、セミナーなどのご案内

一般社団法人 置賜自給圏推進機構
設立準備室
〒992-0031 山形県米沢市大町 4 丁目 5 番 4 8 号
マツヤ書店ビル 3F
電話番号：0238-33-9355
FAX番号：0238-33-9354
メール：mirai21@trust.ocn.ne.jp
http://okitama-jikyuken.jimdo.com/

設立準備委員会世話人 代表
高橋幸司 (山形大学 工学部 教授)
渡部 務 (高畠有機農業提携センター)

呼びかけ人

星 寛治 (農民・詩人)
鈴木道子 (山形県立米沢栄養大学 学長)
九里廣志 (九里学園高等学校 校長)
須藤恭子 (赤湯温泉 いきかえりの宿 瀧波)
近 清剛 (株式会社 三奥屋 代表取締役)
原田陽一 (山形県酪農業協同組合 代表理事)
高橋 尚 (生活クラブやまがた生活協同組合 代表理事)
松本政裕 (共立社生活協同組合 理事長)
近藤洋介 (衆議院議員)
鈴木憲和 (衆議院議員、農水省OB)
舟山康江 (農水省OB・前参議院議員)
(順不同)



置賜自給圏推進機構

ニュースレター Vol.0
創刊準備号

上杉鷹山公の藩政改革に学び
置賜一円を一つの自給圏ととらえ、
地域資源を基礎とした
新しい地域づくりを
目指しましょう!

第0号 2014年7月吉日号



置賜自給圏推進機構とは?

「置賜自給圏推進機構」とは、
山形県の南部に位置する置賜地
域を一つの「自給圏」ととらえ、
圏外への依存度を減らし、圏内
にある豊富な地域資源を利用、
代替していくことによって、
**地域に産業を興し、雇
用を生み、富の流出を防ぎ、
地域経済の好循環をもたらす**
という、新たな視点に立った
地域づくりを検討しようという
考えを持つ人々の集まりです。
圏内有志が集い、置賜の農業
やエネルギー資源と地域との
関わりについて、人々の暮ら
しをつなぐ新しい地域のあり
方を考える「地域資源を基礎
とした「置賜自給圏推進機構」
」設立に向けた準備をすす
めています。

「置賜自給圏構想を考える会」設立総会が行われました!

置賜3市5町を一つの「自給圏」ととらえ、エネルギーと食、
住の地産地消を進める「置賜自給圏構想を考える会」の設立総
会が4月12日、米沢市の伝国の杜で開かれました。

会は、自給圏圏外への依存度を減らし、圏内の豊富な地域資
源の活用によって地域経済を好転させ、新しい地域の在り方を
考えていきます。具体的活動として次の四つの構想、①地産地
消に基づく地域自給と圏内流通の推進 ②自然と共生する安全、
安心な農と食の構築 ③教育の場での実践 ④医療費削減の世界モ
デルへの挑戦を掲げました。

設立総会には置賜8市町や県、教育・農業関係者、国会議員、
地方議員ら約300人が参加。呼び掛け人を代表して高畠町の農民
詩人星寛治さんが「もう一度足元に光を当て、食、農、エネル
ギー自給を基軸にした新たな地域創造に立ち向かう場面だ」と
あいさつをしました。同会事務局が発足の経過と今後の活動案
を説明。さらに同会を「置賜自給圏推進機構」として一般社団
法人化を予定。再生可能エネルギー、圏内流通推進など8部会を
設け、活動を推進していきます。

第2部として北川忠明山形大人文学部長が「新しいローカリ
ズム—置賜自給圏構想への期待」と題して講演しました。



加藤登紀子さんも応援しています。



山形に行くといつも感じるのは、「懐かしい未来」です。
古き時代の精神性が活かされた持続可能な地域自立型の未来ビジョン!
これこそ日本のこれからを救う選択だと思えます。
置賜の一步が、いろんな地方に波及して行くためにも、
この試みの実現を心から楽しみにしています。

歌手 加藤登紀子



創ろう！ 置賜自給圏



置賜自給圏構想を第九代米沢藩主である上杉鷹山公から学ぶ



財政難で窮地に陥った米沢藩を、鷹山公は自給の精神で再建しました。自給の蓄えによって、大飢饉の時も領民から餓死者を出しませんでした。また地場産業も育成しました。

*) 平成 19 年 (2007 年) に『読真新聞』が日本の自治体首長に対して行ったアンケートでも、理想のリーダーとして上杉鷹山が 1 位に挙げられています。

置賜地方には、自然風土と地域資源の豊かなストックがあります。食とエネルギーの自給を基に新たな地域再生に立ち向かうときではないでしょうか。置賜 3 市 5 町が連携して人口減少や地域の活性化の危機を乗り越え、地域主権の流れを置賜から発信していきましょう！



置賜自給圏推進機構が目指すもの

近年、国ごとの規制や制度の枠組みを越え、世界を一つの市場にして規模と価格とコストの果てしない競争を強いていく、こんな動きが勢いを増し、国内の零細企業、家族農業、地域経済の先細りが進んでいます。この状況を打開するために、置賜を一つの「自給圏」ととらえ、圏外への依存度を減らし、圏内にある豊富な地域資源を利用、代替

していくことによって、地域に産業を興し、雇用を生み、富の流出を防ぎ、地域経済の好循環をもたらすという、新たな視点に立った地域づくりを検討しようという声が大きくなってきています。そこで、圏内有志が集い、置賜の農業やエネルギー資源と地域との関わりについて、人々の暮らしをつなぐ新しい地域のあり方を考える“地域資源を基礎とした「置賜自給圏推

進機構」をこれから設立いたします。基礎的生活資源の自立、自給こそ地域づくりの根本とするこの「置賜自給圏」構想は、かつて米沢藩の名君と讃えられた上杉鷹山公の地域づくりを範として、住民が中心となって日本の新しい地域モデルとして今立ち上がろうとしています。



白布温泉 露天風呂



置賜平野

置賜自給圏推進機構の関係部会の設置及び主な8つの事業内容例

置賜の3市5町が一体となり、住民団体、行政、協同組合、業界、学校などが垣根を超えて連携し、地域自立の新しいモデルを作っていきます！

1 再生可能エネルギー部会

再生可能エネルギーの調査やシステム導入のための研修会などを行い情報交換と研究開発を行います。

2 圏内流通(地産地消) 推進部会

自給圏内の生産量や消費量の実態調査や学校給食、医療施設の地産地消の調査や地元小売店や旅館、飲食業などの実態調査。

3 有機農業推進部会(ケミカルから有機へ)

有機農業の現状調査やモデル農家実証圃の公開、普及促進に関する課題の整理を行います。

4 教育・人材育成部会

「置賜学」・置賜自給圏推進講座の開催や地域エネルギー講座、グリーン・ツーリズム受け入れ講座などを行います。

5 土と農に親しむ部会(身土不二の農舞台)

普及展示圃及び講座の開設を行います。置賜伝統野菜の普及と種子の保存なども行っていきます。

6 食と健康部会

農医連携の普及や食と健康に関する講座や栽培方法別栄養素の調査研究、加工(漬物・干物)講座による普及を目指します。

7 森林等、再生可能資源の利用活用研究部会

住と暮らしの環境講座などを開催します。

8 その他

年次数値目標の設定と事業実施の検証を行います。意見交換会及び収穫感謝祭の開催を企画します。

どの部会に興味がありますか？

これからあなたと共にこんな具体的な事業を進めていきましょう！



西吾妻山風景

学校給食を地元の安全で安心な食べ物にして欲しいわ。

「置賜の地球遺産」って何？

高齢者向け介護食をぜひ、地元の食材で！

地元の産直品を露天販売して商店街を活性化して欲しいわ。

有機農業を地元でしたいのですが…

自然エネルギーがいいわよね。

フラワー長井線で市民ガーデンやりたい！

置賜自給圏は期待されています！あなたもぜひ仲間になってください！

